

長生・山武自閉症協会自然散策会

藤田浩二（茂原市）

日 時：2011年11月5日（土）10時30分～12時 天候：晴れ

参加者：11人（4家族）

担当指導員：木嶋恵子、藤田浩二

開催場所：茂原市 茂原公園

茂原公園は、ほとんどの参加者が日常訪れていて、十分に見慣れている公園です。このため、見慣れた場所でも、五感を意識して使えば、新たな自然の発見・楽しさがたくさんあることを気付いてもらいたいと思い、五感の観察ネタを盛り込んだネイチャービンゴカードを使って進行しました。

紅葉にはまだ早い時期でしたが、イチョウの黄葉は始まつていて、各にお気に入りの落ち葉を拾ってもらいました。

プラタナスの木では、落葉するまで葉柄基部の中に新芽が守られていることを、自分で触れてみることで新たな発見として感じてもらえたようでした。

桜の木にいたのは、ヨコズナサシガメの幼虫。その派手な部模様について、皆でいろいろ感想談義となりました。クスノキの大木では、葉の匂いを嗅いでもらい、「癒されるようだ」との感想をいただけました。また木の下では、木嶋さん手作りの的（マト）と、事前採集してもらったひつつきむし（オナモミ・センダンクサ等）で、ダーツ大会を楽しみました。

尾根道をノコンギク・ノハラアザミ・アキノキリンソウなどの、秋の野草の色合いを楽しみながら丘の上の展望台から茂原市街を遠望して終了しました。

